

＝ 普 及 情 報 ＝

N o. 18

令和7年11月26日
東部農林水産振興センター農業振興部

標題

タマネギ栽培2年目の法人で定植機の実演会を行いました！！

(ダイジェスト)

松江市農林振興協議会は、令和8年産のタマネギ栽培に向け、○法人のほ場で定植機の実演会を行いました。昨年は農業技術センターの貸出機械（歩行型の移植機）を使用しましたが、今後の機械導入の参考にもらうため農業振興部が提案し、市内で導入事例のない乗用移植機を手配しました。

また、関係機関に幅広く声をかけ、実演会に参加してもらいました。法人からは「水田ほ場でもしっかり作業ができた」という声が聞かれました。

松江市農林振興協議会（構成組織：松江市、JAくにびき、農業振興部）は、11月11日に○法人のほ場（30a）でタマネギ乗用移植機の実演会を行いました。○地区では現在、ほ場整備が行われており、○法人が高収益作物としてタマネギ栽培を行っています。今作が栽培2年目ですが、タマネギの機械を所有していないことから、今後の機械導入の参考にするため農業振興部が中心となり、実演会を開催することとしました。

また実演会では、当センター調査計画スタッフ及び松江県土事務所にも参加を呼びかけ、機械の稼働状況等を見てもらいました。

当日は晴天に恵まれましたが、前日まで降った雨の影響で畠間が滞水している状況でした。業者の都合により実演日を変更することができなかつたため、機械がぬかるみにはまらないよう細心の注意を払いながら、なんとか定植作業を行うことができました。それでも、植え付けが上手くいかなかつた畠や機械が入れないほど滞水した場所は、人力での補植作業が必要となりました。

○法人は、滞水条件でも定植作業ができたこと、定植スピードが歩行型より速かったこと、及び機械に乗ったまま作業ができるので身体が楽であったことについて評価されました。

また、今後の導入に向けて参考にしたいといった前向きな意見が聞かれた一方で、費用が高く1法人だけで導入するのは厳しいという意見も出了しました。

農業振興部は、栽培規模に適した機械の選定や機械の共同利用等のしくみづくりを視野に入れながら、生産体制の整備に向けた提案を行っていきます。



実演会の様子



定植後の様子